

○入国

現地に到着したのは9月25日のこと。24日の夕方に関西国際空港を出発し、カタールを経由し、フランクフルト国際空港に到着した。

入国するまでで一番心配だったことは、入国審査だ。ネットを見てみると、「最低一時間にかかる」や、「何か不十分だと入国を拒否される」などと不安を煽るような記事が見られたが、私の場合は入国審査の列に早く並べたこともあり、簡単な受け答えと入学許可証を見せるだけで10分とかからなかった。

○入寮

そこから地下鉄と電車を乗り継ぎ、ようやくトリーア中央駅に到着した。ここまで完全な一人旅だったので、現地の学生と合流できた時の感動は忘れられない。

寮で簡単な説明を受けて入寮すると、溜まった疲労からその日は約13時間睡眠した。

○生活

まだ現地に到着してから日にちが経っていないため分からないことも多いが、基本的な生活はあまり変化していないように感じる。違いを挙げるとすれば、健康意識が向上したことである。窓から外を見ると、ランニングやウォーキング、サイクリングをしている人をかなり多く見かける。私もそれにつられてよく散歩をするようになった。適度な運動は健康に良いことはもちろん、現地の人との交流にもつながるため、これから習慣づけたいと思う。

○町について

トリーアという町は、ドイツの西部に位置する人口約10万人の町で、フランス、ルクセンブルクにとっても近い場所に位置している。比較的のどかな場所だが、歴史的な観光地が多くあり、町は活気にあふれているように感じる。



左) ドイツ鉄道 右) Porta nigra

○オリエンテーションプログラム

9月30日に留学生向けの授業が初めて行われた。習熟度別にクラスが分けられ、それぞれのレベルに合ったドイツ語を教えてもらえるというプログラムで、いろいろな国から来た生徒と共に、楽しく学ぶことができる。

○全体を通して

シャワーのみの生活や買い物、気候といった点でまだまだ慣れてはいないが、私のつたない英語とドイツ語でもきちんと生きていけるということを実感した、約1週間であった。



左) 寮内の様子 右) シャワー室兼トイレ